

# 第1回東広島市総合計画審議会部会次第

【人づくり】

日時：令和6年5月7日（火）18：00～

場所：東広島市役所本館3階 303会議室

## 1 開会

## 2 議事

- (1) 前期計画の振り返りについて
- (2) その他

## 3 閉会



# 施策単位による課題の抽出

## 人づくり

施策名 (総合計画のページ)	施策の将来の目標像 (目指す姿)	施策の方向性	目指す姿に対する現状
<p>1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進 (P80～P81)</p>	<p>様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。</p>	<p>1 多様化する人権課題への対応 2 男女共同参画社会の実現に向けた対応 3 平和・非核意識の高揚に向けた対応</p>	<p>・人権フェスティバルひがしひろしまや人権教育・人権啓発指導者研修会の継続的实施や、新たな犯罪被害者等の支援やパートナーシップ宣誓制度の実施により、十分ではないものの、人権尊重の意識着実に高まりつつある。</p> <p>・おしゃべりカフェ等の啓発活動講座の継続開催や、男女共同参画のための拠点・エスポワールの活動の充実により、誰もが活躍できる社会に近づいた。</p> <p>・戦争体験者や原爆被爆者の高齢化が進む中で、平和を語る人材を輩出する活動を継続しながら、市民による平和活動団体との連携を深め、被爆資料の貸出や出前講座の実施等、次世代への継承のため新たな取組みにも着手しており、市民の平和・非核意識の高揚に寄与している。</p>
<p>2 乳幼児期における教育・保育の充実 (P82～P83)</p>	<p>子どもたちの健やかな成長のため、子育て家庭に必要な養育力が備わり、質の高い教育・保育環境が整っています。</p>	<p>1 乳幼児期における教育・保育の質の向上 2 幼稚園、保育所、小学校の連携・接続 3 子育て家庭の養育力の向上に向けた対応</p>	<p>・ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランに基づき、保育環境の見直しや保育士等のスキル向上により、認可保育施設（保育所、認定こども園、幼稚園）を利用する保護者アンケート結果（子どもの育ちを実感している割合）は向上し、目指す姿に近づいた。</p> <p>・幼保小連携は、地域差があるため全体での推進が課題となっている。</p> <p>・家庭の養育力については、子育てに不安を抱える家庭はまだまだ多く、引き続きその向上に取り組む必要がある。</p>

# 施策単位による課題の抽出

## 人づくり

施策名 (総合計画のページ)	施策の将来の目標像 (目指す姿)	施策の方向性 (②)	目指す姿に対する現状
<p>3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践 (P84～P85)</p>	<p>すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望を持ち、主体性と創造性を持った人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。</p>	<p>1 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成とそのための基盤整備 2 学びのセーフティネットの構築 3 青少年の健やかな成長を支える環境の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査や体力・運動能力調査において、本市の児童生徒は、総じて全国や広島県の数値を上回っているが、差は縮まっている。また、改訂トライアングルプランにより「こころの授業」を開始するなど、「生きる力」の育成が進んでいるが、「不登校」は増加している。</li> <li>・デジタルドリル等を活用した新たな学びの環境整備や、ICTを活用した授業づくりに対する支援の充実に向けたICT支援員の配置などにより、目指す姿に近づいている。</li> <li>・特別な支援を要する児童生徒への支援が拡充され、個に応じた生徒指導の充実等により、目指す姿に近づいている。</li> <li>・地域や関係団体などとの連携による青少年健全育成に向けた各種事業の実施により、青少年の健やかな成長を支える環境の形成につなげ、目指す姿に近づいていると考えている。</li> </ul>
<p>4 新たな価値を創造する人材の育成 (P86～P87)</p>	<p>多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。</p>	<p>1 創造性あふれる人材の育成 2 地域資源の大学等の教育への活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や企業が有する専門知識や技術を活用した講座の実施により、児童生徒が自ら課題を設定し、他者と協力して解決する力を高めることができている。ただし、全ての学校がこの講座を実施できているわけではない。</li> <li>・学校教育に加え、大学や市内企業等の協力のもと、様々な理系分野等で講座を提供し、参加した子供たちにはそれぞれの分野に興味関心を持ってもらうことができている。</li> </ul>

# 施策単位による課題の抽出

## 人づくり

施策名 (総合計画のページ)	施策の将来の目標像 (目指す姿)	施策の方向性 (②)	目指す姿に対する現状
5 知的資源と国際性を活かした人づくり (P88~P89)	大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育っています。	1 大学等の知的資源の地域における活用に向けた対応 2 外国人との交流を活かした人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動協力者を学校に派遣する取組を通して、児童のグローバルマインドを育むことができています。</li> <li>・大学の知見を活かした様々な分野の講座を通して、大学と地域住民の連携や交流が生まれ、市民の豊かな学びにつながっている。</li> </ul>
6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり (P90~P91)	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。	1 多様な学習機会の提供と学習成果の活用 2 芸術文化活動の活性化と創造 3 文化財の保存・整備・活用の推進 4 多様なスポーツへのニーズに向けた対応と生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな学びのスタイルである集合型オンライン講座等をはじめ、地域の特性及びライフステージに応じた様々な講座に参加することで、市民の学びあう機会が増え、主体的な活動が生まれつつある。</li> <li>・『施策の方向性』の「1 多様な学習機会の提供と学習成果の活用」の項目について、学習機会の提供については、これまで「主催講座の増加」により、様々な分野の学習機会を増やすことを主としてきたが、今後は地域課題の解決につながる「学習機会の充実」を図るとともに主体的な学びを促進していく主旨から、項目を「1 多様な学習機会の充実と学習成果の活用」とする。</li> </ul>

# 施策単位による課題の抽出

人づくり

## 施策の数値目標

NO.	施策名	施策の数値目標	初期値	R6（目標値）…②	R6（見込み値）…①	R6の達成率 （%） （①÷②）×100
3-1	人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%以上	55%	122%
3-2	乳幼児期における教育・保育の充実	子どもの育ちを実感できる人の割合	-	90%	不明（R5：98%）	（R5：109%）
3-3	高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	全国学力・学習状況調査結果における平均正答率及び正答率40%未満の児童生徒の割合	小 1 1.7% 中 1 7.0%	小 9%以下 中 15%以下	小 9% 中 15%	100%
3-4	新たな価値を創造する人材の育成	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	未実施	80%	84%	105%
3-5	知的資源と国際性を活かした人づくり	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」思う児童・生徒の割合	小 73.3% 中 66.8%	小 80% 中 70%	小 75% 中 68%	小 94% 中 97%
3-6	市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	市民の生涯学習満足度	61.5%	80%	59.7%	75%